

御坊市役所第2次地球温暖化対策実行計画については、市役所も消費者や事業者の一つであるという立場から、平成22年8月に計画を策定し、地球温暖化の防止に向けた取り組みを行っています。

このたび、10ヶ年計画の後期の4年目となる令和元年度の実施結果がまとまりましたので、お知らせします。

<温室効果ガス総排出量の削減目標>

本実行計画の温室効果ガス（温室効果をもたらす大気中に拡散された気体のこと）総排出量の削減目標は、令和2年度までに基準年度の平成22年度より**7%削減**させることです。

<令和元年度の取組結果について>

計画に基づき、市の事務事業の実施にあたり、市役所全体で温室効果ガスの主な排出要因である電気及び燃料使用量などの削減に取り組んできました。

令和元年度の温室効果ガス総排出量は、1,910,051Kg-CO₂で基準年度の平成22年度と比較すると、393,543Kg-CO₂（17.1%）の削減となり、目標を超える削減率となりました。

ほとんどの項目で、使用量の削減ができており、日々の取り組みが今回の結果につながりました。温室効果ガス総排出量のうち、83.8%と大部分を占めている電気の排出量を算定するための、排出係数※が大幅に改善された事もこの削減率を達成する一因となっています。

* 温室効果ガスの総排出量（基準年度との比較）

項 目	平成22年度	令和元年度
温室効果ガス総排出量（Kg-CO ₂ ）	2,303,594	1,910,051
うち電気使用量に係る温室効果ガス総排出量	1,980,496	1,600,361
電気の使用量（kWh）	5,578,863	4,791,500
温室効果ガス総排出量削減率（H22年度比）	—	17.1%

※排出係数とは…

使用したエネルギーから温室効果ガスを算定するために用いる係数（原単位）で、発電に用いた燃料によって異なり、特に火力発電の場合、排出係数は高くなる。令和元年度は、関西電力（株）の平成30年度実績に基づく排出係数（0.334kg-CO₂/kWh）を採用している。

<今後の取組みについて>

本実行計画の9年目となる令和元年度は、クールビズや節電、燃料の削減など市役所全体で地球温暖化対策に取り組んでいます。電気使用量に係る排出係数が改善される事もあり、平成22年度比で17.1%の削減となり、目標を超える削減率を達成することができました。

計画の当初と比較すると、軽油、灯油、プロパンガス、電気など多くの項目で、使用量の削減ができており、職員の意識は高まりつつあると思われますが、ガソリンについては自動車走行量が減少しているにもかかわらず、使用量が増えていることから、エコドライブの徹底が望まれます。

また、電気については、排出係数の影響で温室効果ガス排出量が大きく増減する可能性はありますが、使用量は着実に削減出来ているので、今後も職員一人ひとりが努力するとともに、令和2年度以降も市役所全体で地球温暖化対策に引き続き取り組んでいきます。